

教員一覧

(2024年5月1日現在)

■所長

井上 章一 風俗史

■副所長

フレデリック・クレインス 戦国文化史、日欧交渉史
松田 利彦 日朝・日韓関係史

■教授

荒木 浩 日本文学
磯田 道史 日本史学
磯前 順一 宗教学、批判理論
伊東 貴之 中国思想史、東アジア比較文化交渉史
牛村 圭 比較文学、比較文化論、文明論
榎本 涉 中世国際交流史
楠 綾子 日本政治外交史、安全保障論
タイモン・スクリーチ 江戸時代の歴史・美術史
関野 樹 情報学
戦 暁梅 近代日中美術交渉史
瀧井 一博 国制史、比較法史
安井 真奈美 日本民俗学、文化人類学
山田 奨治 情報学、文化交流史
劉 建輝 日中文化交渉史

■准教授

片岡 真伊 日本近現代文学、比較文学
エドワード・ボイル 境界研究、文化遺産論、島嶼研究

■助教

呉座 勇一 日本中世史
孫 詩彧 家族社会学、ジェンダー研究
光平 有希 音楽療法史

■特任助教

駒居 幸^{※1} カルチュラルスタディーズ、日本近現代文学
オリバー・ホワイト 日本近世戯作文学

研究者情報



※1 人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)



交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

J R 桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

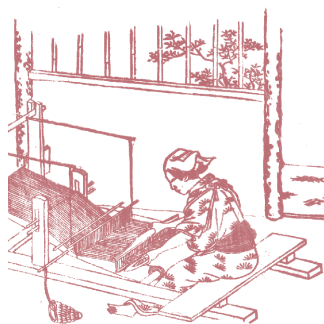
J R 京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」「26B」で約45分

バスはいずれも「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車で徒歩5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL (075)335-2222(代) / FAX (075)335-2091
<https://www.nichibun.ac.jp>

表紙デザイン：国際日本文化研究センター
「近世期絵入百科事典データベース」より



International Research Center for Japanese Studies
NICHIBUNKEN PROSPECTUS

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国際日本文化研究センター
概要
2024

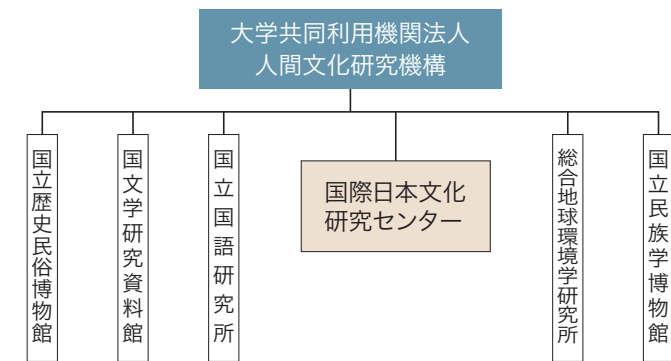
日文研とは

国際日本文化研究センター(日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として、1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本文化の研究を支える国際拠点としての役割を担っています。

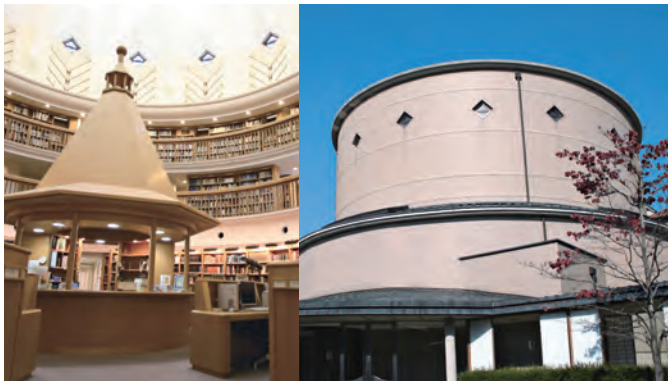
組織



日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究を、「自然観と人間観」「文化と権力」「大衆文化研究の展開」という3ユニットに分類し、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻国際日本研究コース博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し(図書資料約61万冊[※])、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



「三人の舞妓」[日文研所蔵]



Elogii di capitani illvstri
(著名武将列伝)[日文研所蔵]

データベース

所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在46種類[※]をウェブで公開しています。
[※]2024年3月31日現在



日文研デジタルアーカイブ



活動

研究活動

共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

「国際日本研究」コンソーシアムのグローバルな新展開 —「国際日本研究」の先導と開拓—^{※1}

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる国内外の研究・教育機関の研究ネットワークを構築し、「国際日本研究」の深化と新たな展開を目指します。共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

開かれた人間文化研究を目指した 社会共創コミュニケーションの構築^{※2}

研究成果を可視化し、学界と社会との共創により研究を高度化することを旨とする事業です。研究機関等と連携しつつ、展示や漫画・アニメーション、データベース等の多用な手法を用いて研究成果を社会に共有・公開しています。

研究協力活動

国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。
・外国語で書かれた日本研究図書
・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
・海外における日本研究者・研究機関に関する情報
これらはデータベース化され、広く公開されています。

学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

普及活動

研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、*Japan Review*、「日文研叢書」、Nichibunken Monograph Series、「共同研究報告書」、『日文研』などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研一京都アカデミックブリッジ、日文研×読売Bizフォーラム東京など一般の方を対象とした多様なイベントを開催しています。
また、教育委員会と連携協定を結び出前授業や探求学習への協力を行うなど、若年層への研究成果発信や次世代人材育成を通じて地方創生にも貢献します。

^{※1} 人間文化研究機構が第4期中期目標期間(2022年度～2027年度)に掲げる基幹研究プロジェクトの事業。

^{※2} 人間文化研究機構が同じく第4期中期目標期間に掲げる共創促進事業の一環。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

詳細は2次元コードからご覧ください。

共同研究

2024年度 共同研究一覧 (2024年5月1日現在)

研究課題	研究代表者
ソリッドな〈無常〉／フラジヤイルな〈無常〉 —古典の変相と未来観	教授 荒木 浩
植民地帝国日本とグローバルな知の連環	教授 松田 利彦
口と鼻—人体と外界の接合域の日本文化史	教授 磯田 道史
町とモニュメント —視覚文化史から見た日本の都市計画と記念	教授 タイモン・スクリーチ
胎内から墓場まで—現代における死生観の解明	教授 安井 眞奈美
「島国・日本」再考—移り変わる姿、意識、心象	准教授 エドワード・ポイル
日文研所蔵井上哲次郎関係書簡の研究 —国民国家の始発と終焉	教授 磯前 順一 共同研究員 荻田 真司
比較のなかの「東アジア」の「近世」 —新しい世界史の認識と構想のために	教授 伊東 貴之
西洋における日本観の形成と展開	教授 フレデリック・クレインス
冷戦期における日本外交 —「平和国家」の構築を中心に(1952-1972)	外国人研究員 黄 自進
「戦後」と「近代」を超えて —1970年代日本の国家と社会	教授 楠 綾子
文化 commons の生成と変容	教授 山田 奨治
「知」を編むということ —集積・編訳・表象にまつわる共創的探究	准教授 片岡 真伊
異文化媒介者たちの比較史	教授 榎本 渉
近代日本における「文人文化」の変容	教授 戦 暁梅
後宮・奥・ハレム —ジェンダー分析から見た宮廷女性の比較史的研究	客員准教授 教授 神田 裕理 榎本 渉
国際日本研究の課題と方法	外国人研究員 佐藤＝ロスベアグ・ナナ



最近の日文研出版物



歴史研究の成果をアニメ化(YouTubeで公開中)



2024年度の活動については日文研ウェブサイトをご覧ください。

2023年度 主な活動の記録



*印は一般の方もご参加可能なイベントです。

活動一覧		
2023年5月	日文研フォーラム*	高度経済成長期の日本とテレビ
7月	日文研×読売Bizフォーラム東京*	絵葉書が伝えた「外地」 —近代日本のアジア表象を考える
8月	研究会横断型ワークショップ 日文研一京都アカデミックブリッジ*	Designing a Japanese University for the Globalizing Century アジアと上方～美術がつなぐ近代～
9月	日文研フォーラム*	『ルバイヤート』から考える懐疑的な無常観
10月	海外シンポジウム 国際シンポジウム	服飾・装飾から考える東アジアの近代 国際交流基金日本研究フェロー・カンファレンス
11月	カリフォルニア大学での展示*	Maternal Health and images of the Body in Japanese <i>Ukiyo-e</i>
	シンポジウム*	長岡京ガラシャ祭×日文研 第30回記念シンポジウム「どうするガラシャ」
	展示*	長岡京ガラシャ祭×日文研 第30回記念企画展 「玉の輿入れ」
	研究会横断型ワークショップ	清華大学共同主催 2023年度日中妖怪研究シンポジウム 「日中異界想像の歴史比較研究」国際討論会
	講義	北京大学現代日本研究センター博士第19期秋学期 オンライン講義
	日文研×読売Bizフォーラム東京*	紫式部と平安時代～その第三の人生
	一般公開*	アジアの中の日文研
12月	講義	京都精華大学全学共通教育科目「日本文化概論」におけるリレー講義
	国際シンポジウム	グローバル・コンテクストにおける妖怪の理論化と歴史化
	研究会横断型ワークショップ	東アジアにおける国民国家の始発と終焉
2024年1月	日文研フォーラム*	「日本民法の父」と近代中国の法学教育 (まなぶんか in 京都駅ビル) 「日本近代美術への誘い —日文研所蔵美術展覧会絵葉書の世界」展
2月	国際シンポジウム	高麗大学文科大学共同主催 「デジタルヒューマンティーズとデータベースから見る人文学の世界」
	セミナー*	高麗大学校グローバル日本研究院・JFソウル文化センター主催 日文研後援「日本大衆文化」市民講座
	日文研一京都アカデミックブリッジ*	世界が見た日本の古典～魅力再発見～
3月	日文研×読売Bizフォーラム東京*	文学翻訳を取り巻くダイナミズム
	シンポジウム	日本宗教・思想文化の接合域と多面性を考える —「他者」とどのように向き合ったのか
	学術講演会*	マルクス・リュッターマン先生 倉本一宏先生退任記念講演会
	国際シンポジウム	国際比較のなかの戦後天皇制 —「アメリカ王室主義」の観点から